

抗がん剤の開発と 医療エコシステムの構築

日時
会場

2024年 2月7日(水) 15:00-16:30

鳥取大学医学部米子キャンパス内 臨床講義棟 431講義室
(オンライン (Zoom) とのハイブリッド開催)

講師

齋藤 宏暢

株式会社さいとうコンシェルジュ 代表取締役社長
第一三共株式会社 非常勤顧問



研究者が生んだシーズはその後、製品の品質が確保され、その製品を使用した臨床開発データからヒトでの用量・用法が決定し、有効性・安全性が示され、販売されます。販売後もその製品の品質を保証しながら販売され、より深化したデータを取得しながら、患者の治療に貢献し続けます。

抗がん剤の開発では、早期承認・販売に向けて、先駆け審査等の施策が実施されています。Phase1,2,3のステップを短縮した承認申請の場合、添付文書の記載と市販後の有効性・安全性管理を踏まえた開発戦略が重要です。がん患者の病理検体を用いた動物試験などのトランスレーショナル研究も、一助を担っています。

医療機器ではAIとの融合を目指した研究が盛んです。将来的には、病理検査不要で医療機器のみの確定診断、遠隔手術の医療、高度先進医療を提供する特定機能病院とかかりつけ医との役割分担の徹底が期待されます。また、地方での病院を中心とした街づくりおよび医療エコシステムの構築は、地方創生・地域医療構想の2つの懸案を同時に解決する重要な施策です。

本セミナーでは講師のこれまでの経験と地域医療エコシステムへのチャレンジについてお話します。

申込フォームはこちら <https://forms.gle/xKeR8HDo3D1BR4o59>

開催日前日の正午までにお申し込みください。接続方法を後日Eメールアドレス宛に連絡します。
申込数によっては参加人数を制限する場合があります。参加希望がかなわない場合はご容赦ください。



セミナー詳細は

とっとりバイオフィロントニア



で検索！

連絡先 公益財団法人鳥取県産業振興機構バイオフィロントニア推進室 (担当：森山)

〒683-8503 鳥取県米子市西町86 番地 TEL：0859-37-5131 MAIL：tbft@toriton.or.jp